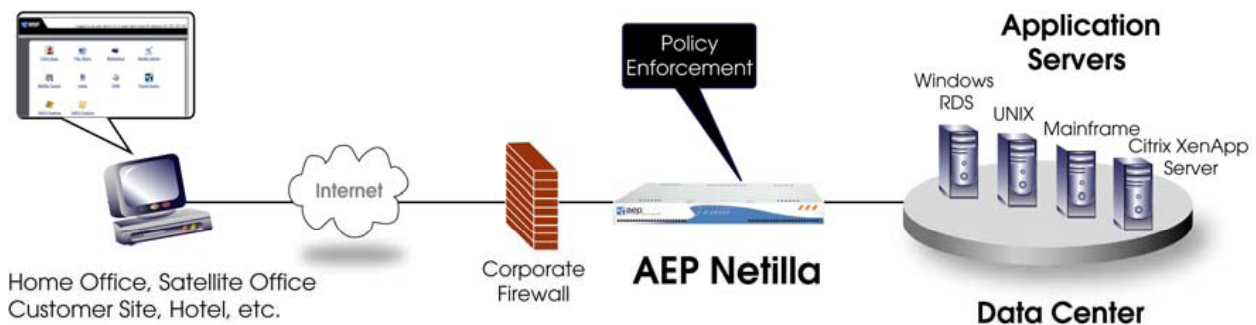


システムの継続性を維持するセキュアなリモートアクセス Netillaによる緊急時対策

パンデミックや自然災害など予期せぬ事態が発生した際、ビジネス継続性を維持する為にオフィスファイルやアプリケーションへのセキュアなリモートアクセスを行うことは非常に重要なことです。リモートアクセスはいまや企業にとって通信バックボーンとなっています。重要データへのリモートアクセスができないために、社員は本来ならば仕事を遂行する為に必要な情報であるにもかかわらず、それらを利用せずに作業を行っている場合もあり得ます。在宅勤務システムに対しフェイルセーフを保証するネットワーク技術は非常に重要と言えます。AEP社のNetillaはいつでもどこでもどのPCからでも重要アプリケーションへセキュアなリモートアクセスを実現するソリューションです。



主な機能

包括的デスクトップアクセスソリューション

単一のNetillaであらゆるタイプのデスクトップへアクセスが可能。バーチャル(VDI)、物理的、ターミナルサービスデスクトップ(Windows RDS、Citrix XenApp)

マイデスクトップ機能

たった数分で多数のユーザの個々のデスクトップPCへセットアップが可能。

組込型クライアントセキュリティ

企業のセキュリティポリシーに対応したリモートコンピュータのセキュリティを保証。アクセスを承認する前に、クライアントコンピュータのID検証及びヘルスチェックを実行。

利用の容易性

Webブラウザを通じて、多種多様なデスクトップタイプにアクセスします。

セットアップの容易性

シンプルなWebベースな管理画面。迅速なセットアップと導入が可能。ネットワークダウンタイムはゼロ。セキュリティポリシーの保持を実現。

Netilla Virtual Edition

ハードウェアアプライアンスまたはバーチャルNetillaプラットフォームから選択

セキュリティ機能

SSL暗号化によるセキュアな接続

強力な二要素認証(RSA, VASCO-内蔵型サーバ)

アプリケーションレイヤープロキシ

アプリケーションはクラウド内で安全に保持され、公衆網へ直接存在が見えることはありません。

デバイスフィンガープリンティング

事前に承認されたクライアントデバイスのみ接続可能

新規ファイアウォールポート不要

Wentラフィックに対し既にオープンされている標準httpsポートを使用

レイヤード認証

拡張性が高く、多くのプロトコルとの結合を実現するV-realmフレームワーク: RSA SecurID@、LDAP、Windows@NT@、RADIUS、Windows ActiveDirectory、kerberos、ActivCard(smard card)など

FIPS140-2 Level4オプション

FIPSレベルの最高レベルセキュリティを実現